



探究活動合同発表会 1 月 29 日(金)

本校で取り組んでいる探究的な活動の成果報告として、『探究活動合同発表会』を開催しました。本来であれば、来賓の方々を招待し、さらに全校生の前で発表するはずでしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本県独自の緊急事態宣言が発令中ということもあり、校内の発表会場から各教室にライブで配信するという、ICTを活用した新しい試みを取り入れました。コロナ禍が終息しないなか、今後の ICT 教育に良い影響を与える画期的な一歩となりました。発表したグループはこれまでの活動の成果を堂々と発表していました。

総合学科 2 年『未来探求』



『タイ王国訪問 報告』

農林科学科 3 年『課題研究』



発表会場の様子

福祉系列『施設実習報告』



ライブを視聴する教室の様子



進路縦割りホームルーム 1 月 29 日(金)

3 年生が主体となって 1・2 年生と進路についての情報を共有する『縦割りホームルーム』を実施しました。3 年生は、1・2 年生からの率直な質問に対しても真摯に回答し、これまでの努力や苦勞についても熱く語り、自分たちの思いを後輩に託していました。頼もしい先輩方からたくさんの貴重なアドバイスをもらうことができ、進路実現に対する意識を高めることができました。



1・2 年生のために準備してくれた 3 年生の皆さん、ありがとうございました！



進路ガイダンス（１・２学年） ２月４日（木）

１・２年生を対象として、外部講師による進路ガイダンスを実施しました。生徒一人ひとりが自らの進路に向き合うことのできる、有意義な時間でした。

【２学年】進学を希望する生徒は、学校説明をオンラインで聞いたり、志望する学校の教員による説明を聞いたりしました。就職を希望する生徒は、生徒が面接官役となって行う模擬面接などの演習を通して、面接の際の所作や受け答えについて、実際に取り組みながら学ぶことができました。



【１学年】大学や専門学校の教員による説明を聞いたり、うさぎや犬などの動物飼育や車体の整備などの体験を通して、『働くということ』を強く意識することができ、将来について具体的に考えることができました。また、本校の卒業生も講師として話をしてくれる場面もあり、とても親近感が持てて聞きやすく、充実した時間となりました。



太子清流高校でしか体験できない
学校行事も紹介するよ！



認知症 VR 体験 １月１８日

こんにゃく作り実習 ２月４日



総合学科福祉系列の生徒が、VR 技術を活用した福祉体験を行いました。認知症がある方の生活上の困難や家族との物語を追体験するなどの活動を通して、利用者の気持ちに寄り添うことと、周囲の人々が症状を理解してサポートすることの重要性を改めて認識することができました。

農林科学科の生徒が、こんにゃく作りの実習を行いました。実習を体験した菊池花さん（農林科学科農業科学コース２年）は、「当たり前食べてきたこんにゃくが、こんなにたくさんの工程でできていることを知って驚いた。食品に対するありがたさを改めて実感した。」と話していました。